

わかやま母親通信

生命を生みだす母親は
生命を育て
生命を守ることをのぞみます

第87号 2021年4月3日発行

発行 和歌山県母親大会連絡会 事務局 和歌山市小松原通3の20 和歌山県教育会館内
和教組 TEL073-423-2261 FAX073-436-3243 母連メール:w_haharen@wkn.or.jp

2021.6.20(日)13:30~15:50 於;金屋文化保健センター HP;和歌山県母親大会

第65回和歌山県母親大会in有田川町 開催に向けて

2月20日(土)、第5回全県代表者会議を開き、各郡市母連や団体から、集約してきた意見を出し合いました。(意見交流の内容は4Pに載せています)

長い歴史と要求運動の財産をもつ母親大会を大切に受け止め、集い意見交流して元気を分かち合う母親大会の大事さを考える気持ちは、母親大会・母親運動に関わってきた人みんなの共通の想いです。だから、新型コロナウイルス感染症の収束がまだ見えない中での県大会開催について、誰もが不安や迷いをもちつつ、「どうするか」を真剣に、何回も話し合ってきました。

有田母連では、2月20日以後に再度「現地としての意思確認」の会を持ち、もう一度話し合った末に、「開催」に向けて取り組むことを意思統一しました。

大会を開くにあたっての基本的確認事項

◎6月20日開催を決定する目安として、

- ・新型コロナウイルス感染症の非常事態宣言が全国(又は近畿各府県)に出していない。
- ・かつ、県内の感染者が、一桁の下の方の数字を推移している。

◎(当然ですが、)きちんとした感染対策をする。(次回会議で相談する)

◎参加人数については可能な範囲とする。(コロナ対策で、最大200名までの会場)

大会(全体会のみ)の主な内容…詳しくは、大会ちらしをご覧ください。

13:30 オープニング DVD視聴『日本母親大会60年のあゆみ』

13:40 開会 県実行委員長あいさつ

13:50 各地の運動交流 4団体が発言する予定です (5分休憩)

14:30 記念講演「ママとして人として 求めたい未来」(仮題)

西郷南海子さん(短期大学講師 教育研究家)

*「ママの会」の活動、短大保育科の学生との交流、ジェンダー平等への想い etc.

15:40 大会宣言

15:45 現地実行委員長あいさつ 閉会 *保育所は設置する予定です。

*お問い合わせ・参加申し込みは、各母連・団体・県母連HPへお願いします。

2021年国際女性デー中央集会 オンライン開催

コロナ禍

ひとりで悩まずつながろう！
いのち・くらし・雇用・営業を守れ！
改憲 NO！ 核兵器禁止条約への参加を！

3月8日(月)18:00から始まりました。オンライン開催となったため、和歌山県でも、ライブで視聴することができました。ご覧になりましたか？

講演 「ジェンダー平等の実現を目指して
—女性の権利を国際基準に—

早稲田大学名誉教授・女性差別撤廃条約実現アクション共同代表

浅倉 むつ子氏（第65回日本母親大会 in 静岡の講師です）

「女性差別撤廃条約」は1979年に国連で採択され、日本は1985年に批准しています。現在、批准国は189か国で、23名で構成される「女性差別撤廃委員会」で、条約の履行状況を監視し改善点を勧告しています。日本は女性だけの育児休業法について、「差別です」と勧告されたこともあり（これは改善した）、家族法の改正（夫婦別姓、マイノリティの権利）について、「重要な改善点」と勧告されているのに、法改正を先延ばししたままの状態です。また、この条約の選択議定書（1999年採択 個人または集団から、直接委員会へ条約違反を通報できる制度を含む）は、この20余年間、「国内法との調整」を理由として「検討課題」のまま批准を先延ばしして、「早期批准」を勧告されています。（日本政府は、国内の人権問題を国際の場に持ち出されたくない？）

2年前から、「実現アクション」を立ち上げ、地方議会に「早期批准を求める」意見書採択の働きかけに取り組み、現在71議会で採択されています。（S.N.）

有田集会 実行委員会

* 菅義偉総理大臣宛に要求書を送付しました。

3月8日(月)に開催しました。積極的には呼びかけなかったのですが、9名の参加でした。

ちらしで紹介した「ジェンダーチェック」をしながら話し合いました。「『女らしく、男らしく』とよく言われたなあ」「姓を変えたくなかったわ」などの発言がありました。

2月の段階で、各団体には、「学習ビラ」を配っています。退教協や新婦人などで、集まりがあった時に、そのビラを読み合って話し合ってくれています。（I.G.）

（前文省略）・・・・・・・・・・
次のことを要求します。

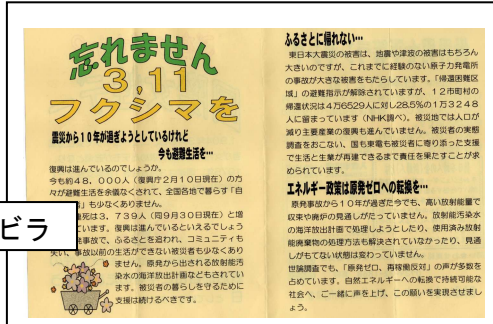
- ・コロナ危機のもと、女性が重要な働き手となっている医療、介護事業、飲食、サービス業、小規模自営業者に、公的支援の拡充を求めます。
- ・選択的夫婦別姓制度を導入するなど、ただちに民法を改正することを求めます。
- ・女性差別撤廃条約選択議定書を速やかに批准することを求めます。
- ・核兵器禁止条約の署名・批准を求めます。

西牟婁集会 西牟婁新婦人

みなべ集会 みなべ町母親大親会実行委員会

「3.11 フクシマを忘れない」との2つをテーマにして、ハンドマイクで宣伝行動をしました。通りかかった高齢女性がすわって聴いてくれ拍手してくれました。たきない町と南紀の台に、手作りピラ 100 枚をポスティングしました。(C. K.)

集会の様子は、前号に掲載しました。



手作りピラ

世界男女平等ランキング

153カ国中 日本は121位

森島明さんの女性差別発言は日本の現状を世界にあらわにしました。政策決定の場への女性の参加が大切で、一人ひとりが大切にされ、自分らしく安心して暮らせる社会づくりを一緒にしませんか。

新日本婦人の会(新婦人)は、女性の職いで行動する団体NGOの女性団体です。1962年発成して、いわさきひろらの呼びかけで創設。通称「新婦人しんぶん」の発行、おしゃべりカフェやサークル活動にも取り組んでいます。

問い合わせ連絡先新日本婦人の会西牟婁支部
0739-22-1868 真砂

日本婦人の会ホームページ <http://www.shinfujin.or.jp/>

ご存じですか? 国際女性デー

1904年3月8日、ニューヨークで女性労働者が女性の参政権を求めたデモが起源となり、1975年、国連は3月8日を「国際女性デー」と制定しました。

女性への差別撤廃と地位向上を訴え女性の政治的自由と平等のために戦う日として始められました。

新婦人県本部 3月8日～4月10日 (女性参政権行使記念日)の期間を「春の行動」と位置付けて、多彩な行動に取り組んでいます。

和歌山市集会 実行委員会・ほぽんた文庫

3月6日(土)市教育会館を借りて開催しました。国賠同盟会長の鶴田至弘氏に「治安維持法下での和歌山の女性たちのたたかい」と題してお話をいただきました。参加者40名。

1925年に治安維持法を制定し、「政府への批判」や「戦争反対の声」を弾圧し、中国への侵略、アジア太平洋戦争へ突き進みました。その間、検挙者数十万人、獄死者400人超、虐殺された人92名にも上りました。県内でも、318人(うち女性19人)が逮捕され、紀の川市の女性で、言動を怪しまれただけで逮捕投獄され、重病で家に戻された2日後に亡くなった方もいたそうです。

しかし、昔の事ではなく、安倍一貫政権下で進められていることは、「いつか来た道」そのものだが、「私たちには、表現の自由、宣伝する術や共同行動する力を持っている。」と締めくくりました。

第2部は、まついのりこさんの同級生のお話の後、「平和紙芝居リレー上演」になりました。子ども2人の読み語り、「おかあさんのうた」「二度と」などが読まれました。

過去の歴史を正しく学び引き継ぎ、憲法に保障される「思想信条の自由」「表現・行動の権利」を行使して、平和を守り発展させる大切さを再確認しました。(Y. K.)

各郡市母連・団体からの意見

- A 1/23の提案の方向で。6月にできる形で開催し、区切りを付けたらどうか。
- B 「誘いにくい」の声。「リモートでは?」と問うたが、反応は少なかった。
- C 1/23の提案の方向で。できる形で開催し、次につなぐことが大切。
- D 何とかしてやり続けないと。「止めたらかんよ」 また、「消極的な声、出しにくいなあ」の声も。乗り合わせは×→自分で行ける人。
- E つなぐ…やれる形でやるが大事。
- F 200名は多いのではないか。目標20名、乗り合わせて連れてきにくい。
- *ここで、県事務局から、新たな案(4PのB案)を提案して、合わせて意見を求めた。
- 団体G 1/23日提案でやった方がよい。
- H 「延期」が続くとしんどい。できる形でいいので、やれたらいいなと思う。
- 県役員 「集まる」って大事／できる人ができるところで／運動は止めないで…。4か所分散大会のB案を提案したが、郡市大会と県大会をコラボしたら。「私は役員だけど、慎重にしたい思いが強い」の声もある。
- 昨年後半期から、「コロナ対策をして、やれる形で」の集会になってきている。或いはリモート開催も。無理をせず、各自が出欠を判断したら…。
- 現地 「よう誘わん」の声があり、慎重な雰囲気になっている。悩ましい。

*この後、しばらくフリートーク

- ・ やったら、「やれてよかった」と思える。…兵庫県大会・京都大会の資料参照。
- ・ 他団体(演鑑なども)では、コロナ対策を取り、工夫してやれている。
- ・ うちの団体では、話し合って行動しているが、「怖い」と強く感じる人は、行動に参加しない。でも、今は個人の感じ方を認め合うことが大事と考えている。
- ・ 講師が西郷さんなら(リモートやDVDでなく)、生で聞きたいと言っていた。
- ・ 目標を設定せず、来れる人数にしたら、何人かは参加できるかも。(西牟婁)
- ・ 西も次だから、延期が続いたら責任者は耐えがたい気持ちになると想像できる。
- ・ 現地が慎重になっているのなら、今日は方向性を出さずに再度話し合ったら…。
- ・ 話し合っても、私の所は同じ答えだと思う。各母連・団体の意見は出たので、やはり方向性はきちんと出した方が次に進んでいけると思う。もちろん、現地母連の意見が大事だと思っているが…。

現地 原案の方向でできたらと思う。目標にとらわれず、来られる人でということで、もう一度話し合いたい。ただ慎重な声も大事に受け止めたいと思っている。

意見交流を踏まえた上での今後の方向性

◎原案を踏まえた方向とし、4月3日に最終確認をする。

*6月20日開催を決定する目安として、

- ・ 新型コロナウイルスの非常事態宣言が全国(又は近畿各府県)に出していない。
- ・ かつ、県内の感染者が、一桁の下の方の数字を推移している。 以上